

かわぐち しん
川口 信

奈良県議会議員 無所属 御所市選出

日頃より私の政治活動に温かいご支援とご理解を賜り、厚く御礼申し上げます。6月24日に本会議で4回目の一般質問を行いました。県政報告レポートを通じて、奈良県・御所市の課題や取り組み、日頃の活動を少しでもお伝えできればと考えております。今後とも皆様の声をしっかり受け止め、奈良県発展のために全力で取り組んでまいりますので、ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

川口 信



2026年6月定例議会 本議会質問項目 (6月24日 登壇)

1. 医療的ケア児・者に対する医療型短期入所施設の充実について
2. 医療型障害児入所施設での教育機会の充実について
3. 産婦人科・小児科オンライン相談の実施について
4. 国民スポーツ大会を見据えたアンチ・ドーピング対策について
5. 地域の建設業者支援について

要望 土砂・洪水氾濫対策と遊砂地事業について

県議会 本会議録画動画視聴はこちらから ▶



プロフィール

1989年2月27日 御所市大字柏原 生まれ
2001年 御所市立披上小学校 卒業
2004年 智辯学園中学校 卒業
2007年 智辯学園高等学校 卒業
2011年 早稲田大学 先進理工学部 卒業

所属

奈良県中小企業連合会 理事
こふれ21(企業連・中企連若手経営者の会)
一般社団法人 橿原青年会議所(JCI橿原)
一般社団法人 奈良県軟式野球連盟 副会長
ダイードリンク杯少年野球大会 会長



各種SNSで情報発信中です



質問 1

医療的ケア児・者に対する医療型短期入所施設の充実について

川口 在宅で人工呼吸器等のケアを行う「医療的ケア児・者」とその家族が地域で暮らし続けるための基盤として、医療型短期入所施設は重要な役割を担っている。しかし、当該施設は不足しており、北部と南部・東部との間で深刻な地域格差が生じている。施設を充実させることで、地域格差の解消に繋げる今後の取り組みについて伺いたい。

知事 医療的ケア児・者への支援と家族の負担軽減は重要な課題である。現在、県内の短期入所の受け入れ実績は北部に集中しており、中南部では1病院のみである。この受入停滞の背景には、医療機関のノウハウ不足や、基本報酬の低さが指摘されている。

県では、実績のない指定医療機関へ支援センターを通じたノウハウ提供を行うとともに、国に対して基本報酬の見直しを要望していく。また、南部地域で実施している看護師が自宅へ訪問する在宅レスパイト事業を今年度は東部地域へも拡大。今後も新規入所や受け入れ件数の増加を医療機関に働きかけ、取り組み強化を図っていく。



川口 南部地域の拠点確保を望むご家族の声は切実である。民間施設の支援検討とともに、南部の中核拠点である南奈良総合医療センターにおいて、まずは1~2床でも短期入所の受け入れ枠を確保するなど、地域偏在の解消に向けて引き続き前向きな検討を求める。

質問 2

医療型障害児入所施設での教育機会の充実について

川口 重症心身障害児や医療的ケア児の長期入所は医療型障害児入所施設が担っているが、施設内の学習環境は改善すべき点が多い。入所中の十分な学習機会の充実に向けて、県の取り組みについて伺いたい。

教育長 県教育委員会では、施設へ教員を派遣し、施設内訪問教育を実施している。また、児童生徒の障害の状態や医療的ケアの内容に応じて、個別に教育支援計画や指導計画を作成し、ICT活用によるベッドサイド学習や学校行事へのオンライン参加、本校への登校による同年代との交流機会の確保にも取り組んでいる。今後も実態に合わせた教材・備品の整備を進めるとともに、施設側と連携して学習スペースや活動場所を確保し、学習機会のさらなる充実を図る。

川口 施設内だけで整備するのではなく、屋外も含めた学習環境の整備を提案したい。他県では、施設敷地内にコンテナを設置し、学習室やICTルーム、相談室等を確保した事例もある。また、整備費用については国の社会福祉施設等整備補助金などの活用もあり、合わせて検討いただきたい。



質問 3

産婦人科・小児科オンライン相談の実施について

川口 小児救急の負担軽減や保護者の不安解消に向け、他自治体では専門医に直接相談できるオンライン相談の導入が進んでいる。本サービスはLINEやチャット・ビデオ通話を活用し、小児科医産婦人科医へ救急相談ができるため、医療アクセスが限られる山間部等の利便性向上や、保護者の安心感にも繋がる。そこで、本県として現在の小児救急相談体制への評価と、「産婦人科・小児科オンライン相談」の実施に対する考えを伺いたい。



医療・政策局長 子どもの急病に対応する「子ども救急電話相談（#8000）」は認知率・満足度・応答率ともに高く、必要な相談体制は概ね確保できていると考える。オンライン相談サービスについては、南部・東部地域での相談機会確保に一定の意義は認めるが、市町村が行う健康相談・母子保健事業所と関係が深く、また費用対効果や#8000との役割分担等、引き続き情報収集を重ね研究していく。

川口 #8000の導入から20年以上が経過した今、時代に即した新たな相談システムの検討時期に来ている。各市町村の意見を聞きながら、県も一緒になって導入へ取り組んでいただきたい。

質問 4 国民スポーツ大会を見据えたアンチ・ドーピング対策について

川口 2031年の国民スポーツ大会(国スポ)開催に向け、アンチ・ドーピングへの取り組みは重要な課題である。「うっかりドーピング」等を防ぐためにも、専門知識を持つスポーツファーマシスト(※)の体制整備、継続的な啓発や講習・研修の実施などの支援体制を構築していく必要がある。



※スポーツファーマシストとは 最新のアンチ・ドーピング知識に基づき、ジュニア世代から高齢者までスポーツを行うすべての人へ、薬の教育や助言を行う薬剤師

1) 県としてアンチ・ドーピング教育・啓発をどのように推進していくのか

地域創造部長 本県の第2期スポーツ推進計画では、スポーツの健全性・安全性の確保に向けた取り組みの推進を位置付けており、県スポーツ協会と連携して国スポに出場する選手や指導者を対象とした研修会の開催などを支援している。今後も県スポーツ協会と連携し、アンチ・ドーピングの研修・啓発に継続して取り組む。

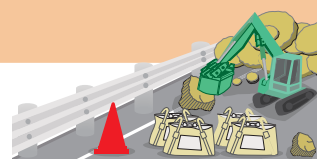
2) スポーツファーマシストを今後どのように活用していくのか

地域創造部長 スポーツファーマシストは現場の安全性・公平性に寄与する存在と認識している。国スポでは救護所に配置する医薬品にドーピング禁止物質が含まれていないかの確認や、相談ホットライン設置にご協力をいただく予定としている。今後も先進事例を研究し、必要な対応を検討していく。

川口 奈良県では、薬業・製薬産業は大きな地場産業である。この強みを活かし、薬業団体と連携してアスリート向けの開発など、「奈良県らしい独自のスポーツ支援モデル」の構築を、各団体と連携して取り組んでいただきたい。

質問 5 地域の建設業者支援について

川口 地域住民の命と暮らしを守る地元建設業者の維持・育成は重要な課題である。



① 入札参加資格における地域要件について

川口 地元建設業者の支援として、本県でも地元業者を優遇する地域要件を設けているが、対象は限定的であり見直しを行う余地があると考え。対象事業や設計金額の基準検討に対する所見を伺いたい。

県土・防災・環境部長 建設業者は災害復旧やインフラ維持を担う「地域の守り手」であり、重要であると認識している。本県では災害復旧等の事業で入札参加者を市町村域に限定し、地元業者の存続や地域雇用を支援している。一方、入札の参加機会や適正な競争の確保も必要なため、対象事業の拡大には慎重であるべき。地域の担い手育成と公平性の両立を図る観点から現行の入札状況を注視し、制度の検討を進めていく。

② 若手技術者の就業促進について

川口 地元建設業者にとって若手技術者の参入と育成は大きな課題である。若者の就業促進のため、県内の高校と連携した取り組みや、総合評価落札方式で県内の学生を雇用する企業を加点評価する制度の導入は有益であると考え、所見を伺いたい。

県土・防災・環境部長 若手の就業促進に向け、小・中・高校でのキャリア教育として建設業者による出前授業の準備を進めている。また、担い手確保や働き方改革のため、総合評価落札方式において若手・女性技術者の配置を評価する加点措置を実施している。提案された学生雇用企業の加点評価については他県の事例を研究し、今後も関係者の意見等を確認しながら、持続可能な業界の発展に取り組む。

要望 土砂・洪水氾濫対策と遊砂地事業について

川口 近年、気候変動に伴う豪雨が頻発化している。本県でも葛城川流域では土砂流出の危険性が確認されており、土砂・洪水氾濫へ重点的な対策を行わなければならない。流れてくる大量の土砂を一時的に受け止め、インフラ被害や人家の孤立を未然に防ぐ「遊砂地」等の効率的な施設整備を積極的に進め、早期の効果発現に努めていただくよう要望を行った。

あ
遊
砂
地
が



一気に流れてきた土砂を一時的に受け止めることができます。広い流路に分散させることで、土砂の勢いが弱まり、安全に下流に流すことができます。

な
遊
砂
地
が



大量の土砂はそのまゝ一気に街の中まで流れ込み、土砂災害が起こります。また、流れ込んだ土砂のために川底が浅くなるので、氾濫が起こりやすくなります。

※[国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所HPより引用]

常任委員会での活動報告

▶2月経済労働委員会

以下の6項目について質問を行いました。

- 東京圏からの県内就労促進事業について
- 県内企業魅力発見事業について
- 御所IC工業団地整備事業について
- よろず支援拠点について
- 「飛鳥・藤原の宮都」を核とした広域周遊促進事業について
- 奈良県食肉センター整備検討事業について



質疑動画はこちら →

2月



6月



▶6月経済労働委員会

以下の5項目について質問を行いました。

- 市町村に派遣されている奈良県フォレスターについて
- クビアカツヤカミキリ対策について
- 中小企業賃上げ環境整備支援事業について
- 中小企業等賃上げ促進事業について
- 御所IC工業団地の企業募集について

議員活動

▶3月29日 五條市で開催された南部中核拠点先行整備竣工式典に出席しました

2023年度の事業見直しを経て、先日広域防災拠点が先行整備の竣工を迎えました。本拠点は段階的な整備が進められ、2026年度からはコアゾーンの整備が開始、また宇陀市にある奈良県消防学校の本拠点内への移転も予定しております。広域的な防災拠点が整備され南海トラフ地震や奈良盆地東縁断層帯地震等の有事に備えることは大変重要です。引き続き、国・県・各市町村と連携を図り、防災の取り組みを進めてまいります。



▶5月29日 ヒューライツ議員団の定例会議に参加し、天理市の取り組みについて学びました

天理市の並河市長、伊勢教育長にお越しいただき、『天理市子育て支援・相談センター～ほっとステーション～』の取り組みについて講演いただきました。教員の心労防止や、専門家の視点を取り入れた専用の相談窓口など、リアルな現場のお話を伺い、教員が子どもと向き合える『余白』を作る重要性を学びました。本取り組みを加盟議員とともにブラッシュアップし県内市町村に拡大するとともに、引き続き超党派で幅広い人権課題に取り組んでまいります。

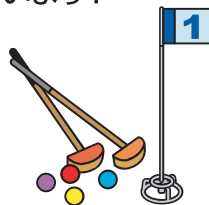


グラウンド・ゴルフ大会

4月2日御所市民運動公園にて、第6回川口杯グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。心配された雨も降ることなく、無事に最後まで元気に競技に参加いただきました。

結果は以下の通りです。おめでとうございます！

- 優勝：南田 孝 様
- 準優勝：前川 勉 様
- 第3位：吉村 慶子 様
- 第4位：明神 千代子 様
- 第5位：中田 勝久 様



ゲートボール大会

3月18日、御所市栗阪ゲートボール場にて、第6回川口杯ゲートボール大会が開催されました。過ごしやすい気候の中、今回も皆様とゲートボールを楽しみました。

優勝は1組チームの皆様です。メンバーは、鯖田喜久治様、三島高志様、山下純也様、萬田眞美子様、島田福子様です。おめでとうございます！

